

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【公開番号】特開 2000-192733 (P2000-192733A)

【公開日】平成 12 年 7 月 11 日 (2000.7.11)

【出願番号】特願 2000-55830 (P2000-55830)

【国際特許分類第 7 版】

E 0 6 B 1/32

E 0 6 B 1/36

【F I】

E 0 6 B 1/32

E 0 6 B 1/36 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 4 日 (2004.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

窓開口部に装着される金属製枠と該金属製枠の屋内側露出部分を覆う樹脂製枠とを備えた窓枠において、

上記樹脂製枠はその屋内側端部に四周に渡って立ち上がり片を備え、

上記窓開口部に装着される金属製枠に対し、上記樹脂製枠はその内周部から各々取付けるものであって、一方に設けた係止部に他方に設けた係止片を係止すると共に、上記立ち上がり片よりも屋外側の内周面側から四周各々ねじ固定してなることを特徴とする窓枠。

【請求項 2】

窓開口部に装着される金属製枠と該金属製枠の屋内側露出部分を覆う樹脂製枠とを備えた窓枠において、

上記樹脂製枠はその屋内側端部に四周に渡って立ち上がり片を備え、

上記金属製枠はその内周面側に係止部を備え、上記樹脂製枠は上記金属製枠の係止部に係合する係止片を備えたと共に、上記金属製枠の内周面側から該金属製枠に対し四周各々ねじ固定される固定部とを備え、該固定部は四周に渡って上記立ち上がり片よりも屋外側に位置することを特徴とする窓枠。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため請求項 1 記載の本発明は、窓開口部に装着される金属製枠と該金属製枠の屋内側露出部分を覆う樹脂製枠とを備えた窓枠において、上記樹脂製枠はその屋内側端部に四周に渡って立ち上がり片を備え、上記窓開口部に装着される金属製枠に対し、上記樹脂製枠はその内周部から各々取付けるものであって、一方に設けた係止部に他方に設けた係止片を係止すると共に、上記立ち上がり片よりも屋外側の内周面側から四周各々ねじ固定してなることを特徴として構成される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するため請求項2記載の本発明は、窓開口部に装着される金属製枠と該金属製枠の屋内側露出部分を覆う樹脂製枠とを備えた窓枠において、上記樹脂製枠はその屋内側端部に四周に渡って立ち上がり片を備え、上記金属製枠はその内周面側に係止部を備え、上記樹脂製枠は上記金属製枠の係止部に係合する係止片を備えると共に、上記金属製枠の内周面側から該金属製枠に対し四周各々ねじ固定される固定部とを備え、該固定部は四周に渡って上記立ち上がり片よりも屋外側に位置することを特徴として構成されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

【発明の効果】

以上のように請求項1記載の本発明によれば、テラス窓や出窓等において、窓開口部に装着される金属製枠に対し樹脂製枠を四周に渡って内周部側から取付け、内周面側からねじ止めするようにしたことから、窓枠を窓開口部に設置した状態のままで、固定ねじを取り外すだけで四周に渡る樹脂製枠のみの交換を可能とし、その結果、複合製の窓枠のメンテナンス性を向上することができるという効果がある。また、樹脂製枠に四周に渡って設けられる立ち上がり片よりも屋外側でねじ止めすることにより、樹脂製枠のねじ止め部分

が屋内側に露出しないので、窓枠の装飾性を損なうことが無いという効果がある。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の窓枠を適用した引き違い窓の屋内側から見た横断面図である。

【図2】 図1の縦断面図である。

【図3】 窓障子を取り外した状態における図1対応の横断面図である。

【図4】 窓障子を取り外した状態における図2対応の縦断面図である。

【符号の説明】

A 窓開口部

1 窓枠

2 アルミ枠

3 樹脂枠

4 ねじ

5 孔

6 ねじ

7 ねじ

10 窓障子

11 框体

12 複層ガラス

13 アルミ框

14 樹脂框

21 アルミ上枠

22 アルミ下枠

23、24 アルミ縦枠

31 樹脂上枠

32 樹脂下枠

33、34 樹脂縦枠

40 化粧縁

C 溝

【手続補正 11】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】削除

【補正の内容】